

しゅうれんかい（修練会）Q&A

公益財団法人豊島修練会 2017年3月9日号（通算第16号）

子どもとの Q&A（ぎもんやしつもんのある子はすばらしいです！）

Q：国語の時間に、山田さんの意見と小林さんの意見は「いっしょだ」と意見を言ったら、その「言い方はおかしいよ」と先生から注意されました。「どうしてですか？」と質問しましたが、意味が分からず納得できませんでした。説明してください。（小6女子）



A：先生がどのような説明をしたのかわかりませんので、私の考えを言いますので参考にしてください。「友達と一緒に（一か所に集まって）に勉強した。お母さんと一緒に（つれだつて）に買い物に行った。お菓子と飲み物を一緒に（一つにすること）の袋に入れた。お父さんとお母さんは、同じ小学校を一緒に（同時に）に卒業した。」というように使います。（ ）の中は意味です。考え方や意見の場合は、「同じ」「似ている」という言い方が正しいです。参考にしてください。

大人との Q&A（パパ&ママ、ジジ&ババもいつまでも好奇心を！）



Q：夕食時に「私の趣味と友達の木村さんの趣味は『いっしょ』だ！」と言ったら、子供に「その言い方はおかしいよ。『同じ』と言うんだよ。」注意されました。おかしいですか？

A：お子さんは、言葉について感性がとても豊かです。上記の子供のAをご覧ください。「一緒に」を「同じ」「等しい」の意味に誤った使い方をする人が多いです。「区別のないこと」や「同一」という意味で趣味が一緒、好みが一緒という使い方をする場合があります。ですからこの場合は、お母さんの言い方も正しい使い方です。お子さんと一緒に、国語辞典や広辞苑で「いっしょ」の意味を詳しく調べてみてください。

学校の先生がたの Q&A（先生にもわからないことがある！）

Q：算数の研究授業で、「Aの面積とBの面積は『いっしょ』だね」と言ったら、講師の先生に「その言い方はおかしい」と言われてしまいました。「なぜですか？」と聞きそびれてしまいました。どうしていけないのでしょうか？



A：上記の子供のAと大人のAをご覧ください。講師は、「ひとまとめにする、共に、同時に」という意味の言葉「一緒に」と、算数用語の「同じ」「等しい」を区別して、正しく使うよう注意を喚起したのだと思います。ということは、「Aの面積とBの面積は『同じ』だ」または「Aの面積とBの面積は『等しい』です」と、いう言い方が正しいのです。

子どもは、これを区別することなく、どの場合にも「いっしょ」と言うことが多いですが、目くじらを立てず、「そう、同じですね」「なるほど等しいね」と、正しく言い換えるようにすると思います。ただし、先生は、子供にとって「日本語、特に算数用語を正しく使うモデル」ですから、「一緒に」「同じ」「等しい」を正しく使いわけてください。（YAYU）

★備考★[成美教育文化会館]で検索すると、「かけはし」のほか「メッセージ」「Q&A」「ほん本ブック」をはじめ「一字荘」「至楽荘」「会館の会場貸出」など様々な情報が閲覧できます。

